

火災予兆検知システム更新

仕様書

令和2年11月30日

1. 調達件名
火災予兆検知システム更新
2. 目的
放送大学学園 放送・研究棟1階サーバ室に設置されている火災予兆検知システムの更新を行う。
3. 納期
令和3年3月31日
4. 納入物
 - a. 火災予兆検知警報盤
 - 外径寸法 (mm) がW530, D135, H700以下であること
 - 壁掛けであること
 - 感度表示範囲が0.005～20%/mであること
 - 火災予兆センサの故障表示を自己診断する機能を持つこと
 - b. 火災予兆センサ
 - 外径寸法 (mm) がW305, D95, H235以下であること
 - 検知方式はレーザダイオードによる総散乱光方式であること
 - 検知レンジを0.001～20%/mで検出可能であること, 検知レンジは任意に設定が可能であること
 - センサー表面においてアラーム状態, 電源, 異常を表示する機能を持つこと
 - イベントのログを18,000件以上保持することができること
 - イベントのログは不揮発性であること
 - 移報出力を接点出力, アナログ出力を行うことができること
 - 環境モニタリングを, 一定周期, 一定期間の煙濃度の記録が行えること
 - イベントのログを閲覧することのできるソフトを用意すること
 - c. 遠方表示器
 - 火災予兆検知警報盤で検出した通知を表示する機能を持つこと
 - 5回線の入力を受け付けることができること
 - d. 設置作業
 - 既存の火災予兆検知警報盤, 火災予兆センサ, 遠方表示器の更新を行うこと
 - 既存の火災予兆検知警報盤, 火災予兆センサ, 遠方表示器, 温湿度センサ, 漏水センサ, 感震センサを撤去の上, 放送大学学園内指定の場所まで移動すること (既存の装置・センサの廃棄については本仕様に含まないものとする)
 - サンプリング配管, 継手, 電路については, 既存のものを利用すること

5. 実施場所，納入場所

a. 火災予兆検知警報盤

- 放送大学学園 幕張本部 西研究棟2階 情報推進課

b. 火災予兆センサ

- 放送大学学園 幕張本部 放送・研究棟1階サーバ室

6. 再委託の制限等

- 受注者は業務の全部について、一括して第三者に請け負わせたり、再委託してはならない。また、業務の一部を第三者の対して請け負わせたり再委託する場合、受注者は、あらかじめ、所定の事項について放送大学学園に申請した上で、承諾を得なければならない。

7. その他

- この仕様に定めのない事項については、本学園と協議の上、定めるものとする